

# 取扱説明書

## チェーンソー

### HG-TM53800 38cc/16インチ

混合燃料  
25 : 1



ご使用の前に	はじめに	2
	安全にお使いいただくために	2
	振動障害の防止	4
	安全ラベル・主要諸元	5
	各部の名称・付属品	6
	ガイドバーとソーチェーンの取付け	7
	運転前の点検	9
使い方	運転操作の仕方	11
	伐木作業	14
点検の仕方	点検整備・清掃の仕方	16
	長期間使用しないとき	19
	故障と思ったら	20
	バラシ図・パーツリスト	22
	パーツ一覧	24
	始動しない時の対処方法	26
	お客様ご相談窓口	27

# はじめに

このたびはチェーンソーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

## 安全上のご注意

- ※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。
- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



### 警告

誤った取扱をしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



### 注意

誤った取扱をしたときに、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



### 禁止

取扱においてその行為を禁止します。



### 指示

指示に基づく行為を強制します。

## 製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。  
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

## 安全にお使いいただくために

### チェーンソーに係る安全事項



### 警告



### 禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。






### 指示




- ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・チェーンの取付けは確実に行ってください。
- ・必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・始動前点検を実施してください。




# 安全にお使いいただくために

## チェーンソーの安全に係る事項

 <b>注意</b>	
 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・指定された用途以外には使用しないでください。</li></ul>
 <b>指示</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。</li><li>・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。</li><li>・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。</li><li>・部品交換は、純正部品を使用してください。</li><li>・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止のしかたを覚えてください。</li><li>・定期点検整備を行ってください。</li><li>・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。</li></ul>

## チェーンソーの作業に係る事項

 <b>警告</b>	
 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。</li><li>・ソーチェンや回転部分に顔や手足を近づけないでください。</li><li>・ご使用時は、子ども、動物、ペットを近づけないようご注意ください。</li><li>・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。</li><li>・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。</li><li>・はしごなど、不安定な姿勢で使用しないでください。</li><li>・ガイドバーの先端では、切断しないでください。</li><li>・チェーンソーで地面を掘り返すような使用はしないでください。</li><li>・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。</li></ul>
 <b>指示</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・レイノー現象がみられた場合は、ただちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。</li><li>・適切な時期に休憩をとってください。</li><li>・石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。</li><li>・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。</li><li>・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。</li><li>・キックバックに注意してください。</li><li>・少しの移動でもエンジンを停止し、チェンブレーキをかけ、ハンドルを持って運搬してください。</li></ul>

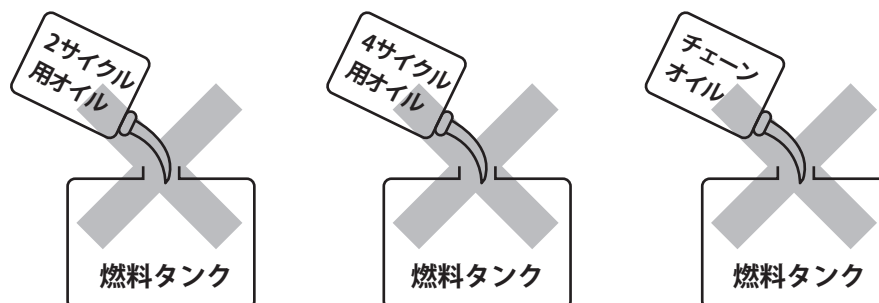
 <b>注意</b>	
 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。</li><li>・エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。</li></ul>
 <b>指示</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。</li><li>・長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。</li><li>・万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。</li><li>・装置を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。</li></ul>

# 安全にお使いいただくために

## チェーンソーの作業に係る事項

### ⚠ 注意

- ・ 弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・ 燃料タンクに、2サイクル用オイルだけを入れしないでください。
- ・ 燃料タンクに4サイクル用オイル、チェーンオイルを入れしないでください。



## 振動障害の防止

### ●1日の使用時間について

1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

①10m/s <sup>2</sup> より小さい場合		②10m/s <sup>2</sup> より大きい場合	
1回の連続作業時間	10分以内	1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内	1日の作業時間	T: 1日の最大作業時間 T=200 ÷ (a × a) a: 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値(m/s <sup>2</sup> )

### ●製造時の振動レベル維持のため

- ・ 定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・ ソーチェーンの目立てを行い、最良の状態で使用してください。
- ・ 異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

# 安全ラベル



- 燃料やオイルの補給、刃の交換、掃除点検などの場合は、必ずエンジンを止めてください。運転中は刃に手や身体を近づけないでください。
- ヘルメット、保護メガネ、耳栓を着用してください。
- 片手持ちの作業はしないでください。
- キックバックに注意してください。
- 火気厳禁

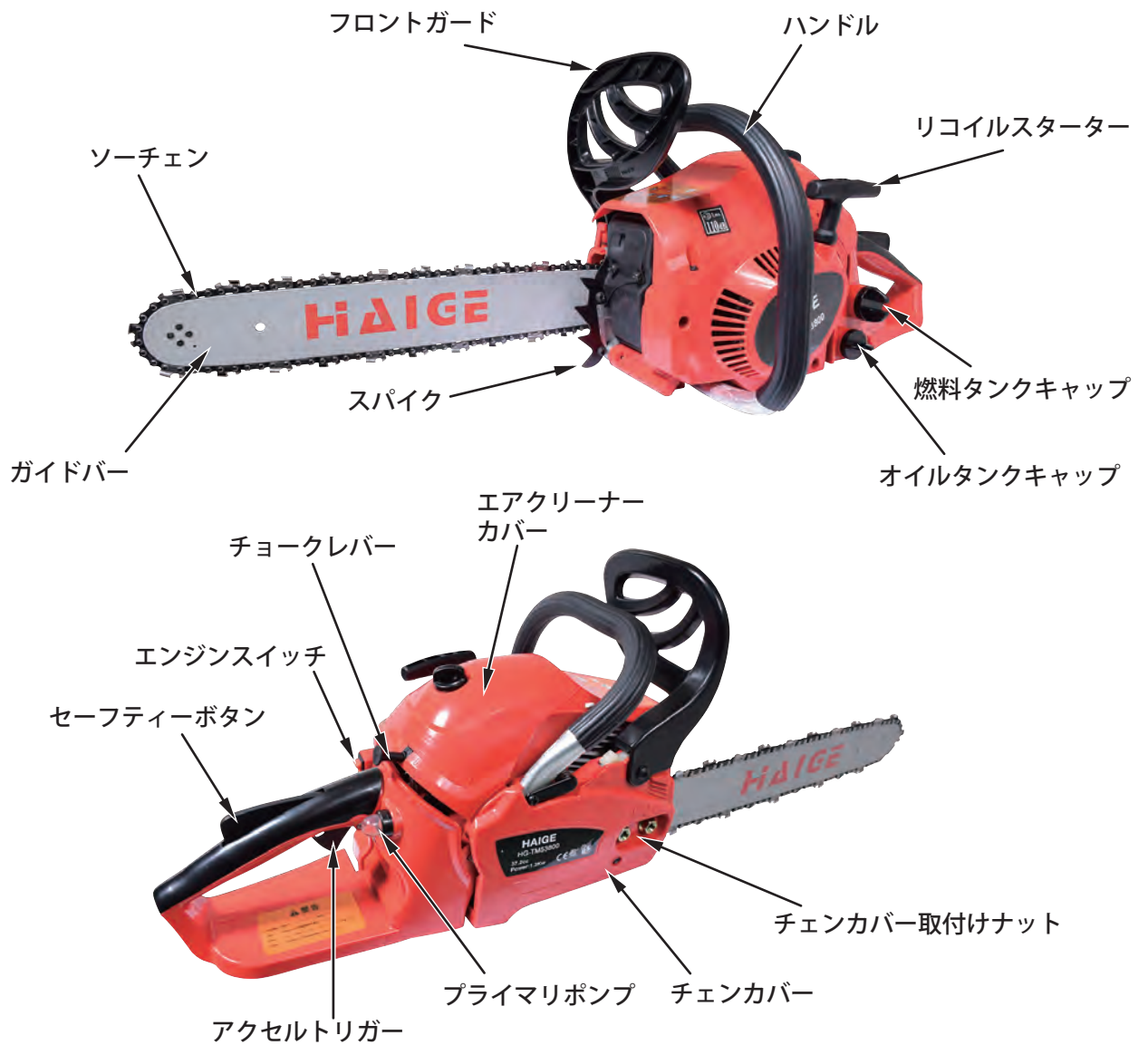
- 1：混合燃料 無縁ガソリン(25：1)2サイクル専用オイル
- 2：警告 作業中は必ず保護器具を着用してください。
- 3：警告 正しくご使用してください。キックバックにご注意ください。
- 4：ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

## 主要諸元


モデル名	HG-TM53800
本体重量	5.4kg
燃料	混合燃料 25:1
燃料タンク容量	310ml
チェーンオイル	SAE#10W-30またはチェーン専用オイル
オイルタンク容量	210ml
エンジン	37.2cc/2ストローク空冷エンジン
エンジンパワー(MAX)	1.2kw/7500rpm
エンジンスピード(作業中)	10000rpm
エンジンスピード(アイドル)	2800rpm
ソーチェンタイプ	オリジナルソーチェン
ソーチェンピッチ	3/8in
ソーチェンゲージ	0.050in
ガイドバータイプ	スプロケットノーズバー
ガイドバーサイズ	16in
ガイドバードライブリンク数	57
3軸合成値	10.5m/s <sup>2</sup> K=1.5



# 各部の名称



# 付属品

<p>A. スパイク (※)</p> 	<p>D. 混合タンク</p> 	<p>E. ガイドバーカバー</p> 
<p>B. ヘックスローブ (※)</p> 		<p>F. ソーチェン</p> 
<p>C. 工具</p> <p>C-1</p> <p>C-2</p> <p>C-3</p> <p>C-4</p> <p>C-5</p> 		<p>G. ガイドバー</p> 
<p>H. ヤスリ (Ø4mm)</p> 		

※製造時期により本体に取付け済みの場合もあります。

# ガイドバーとソーチェーンの取付け



注意

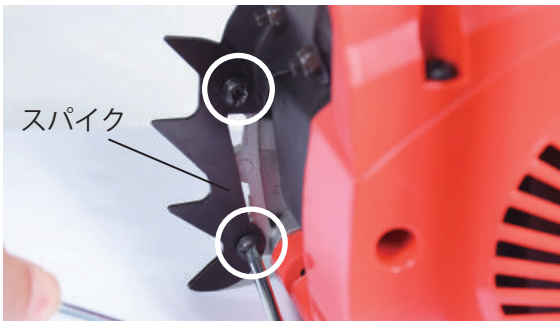
- ・説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- ・指定したガイドバーとソーチェーンを使用してください。
- ・手袋を着用してソーチェーンを取付けてください。

## 1 スパイクの取付け

上部のスパイク取付けボルトを、付属工具のヘックスローブ（星型レンチ）で一旦外します。



スパイクの向きに注意しながら、上部ボルト、下部ボルトをヘックスローブ（星型レンチ）で締め付けてください。



※製造時期により本体に取付け済みの場合もあります。

## 2 チェンブレーキの解除

フロントガードをハンドル方向に引き、チェンブレーキを解除します。解除しないとカバーは外せません。



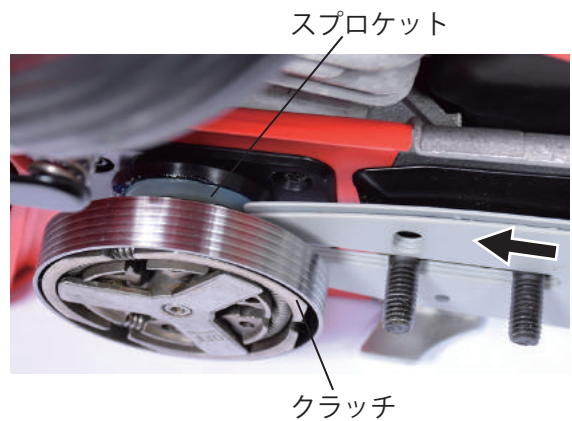
## 3 チェンカバーの取外し

チェンカバー取付けナット2個を付属の工具で取外し、チェンカバーを取外します。



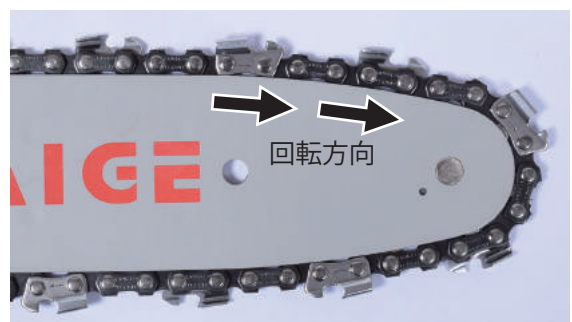
## 4 ガイドバーの取付け

ガイドバーをクラッチよりを取付けます。



## 5 ソーチェーンの取付け

ソーチェーンを刃の向きに注意してスプロケットにかけ、ガイドバーの溝に入れていきます。



# ガイドバーとソーチェーンの取付け

## 6 チェンカバーの仮止め

ガイドバーの穴にチェーン調整軸をはめ込むようにチェンカバーを取付け、チェンカバー取付けナット2個を軽く締めます。



## 7 ソーチェーン張りの調整

ソーチェーンは常に適正な張りに調整します。新しいソーチェーンは、伸びが大きいいため、頻繁に張りの調整をしてください。

張りが弱いとソーチェーンが外れやすくなります。また強いとソーチェーン、ガイドバーなどの部品の早期摩耗の原因となります。

### 適正な張り具合



### 調整の仕方

ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェーン張り調整ネジを時計回り(右方向)に回してソーチェーンを張ります。



ソーチェーン張りは、ガイドバーとの隙間が出ないように張ります。

P.11の要領で一度エンジンをかけチェーンを回したら、たるみがないか確認します。

たるみがあれば張りの調整をします。



## 8 チェンカバーの取付けナットの締付け

ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェンカバー取付けナット2個を付属のレンチでしっかり締めます。





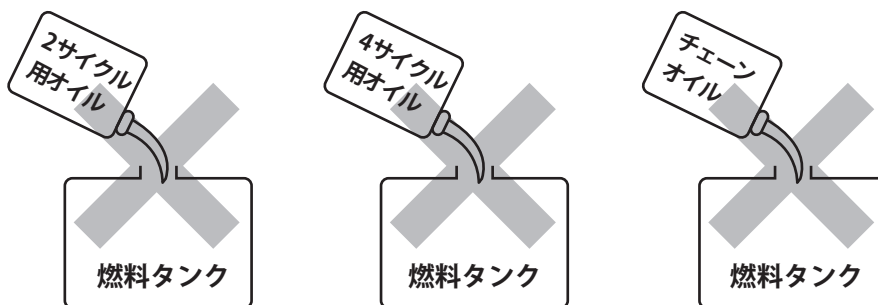
# 運転前の点検

## 警告

- ・ エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・ 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・ 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・ 燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・ 燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・ 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・ 燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2サイクルエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・ 混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

## 注意

- ・ 燃料キャップは確実に締めてください。
- ・ 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・ 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・ 弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・ 燃料タンクに、2サイクル用オイルだけを入れしないでください。
- ・ 燃料タンクに4サイクル用オイル、チェーンオイルを入れしないでください。



## ●混合燃料 25:1 の作り方

市販の25:1~50:1というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。エンジン焼き付きの原因になります。

- 1** 無鉛レギュラーガソリン  
・ 2サイクル用オイル JASO FC  
・ 漏斗(じょうご)  
・ 混合タンク(付属)  
を準備します。
- 2** 混合比25:1 600mlの作り方例  
無鉛レギュラーガソリン576.92mlに対し2サイクル用オイル 23.08ml
- 3** 混合タンクに無鉛レギュラーガソリンを規定量① (576.92ml) まで入れます。

- 4** 2サイクル用オイルを② (23.08ml) まで続けて入れます。

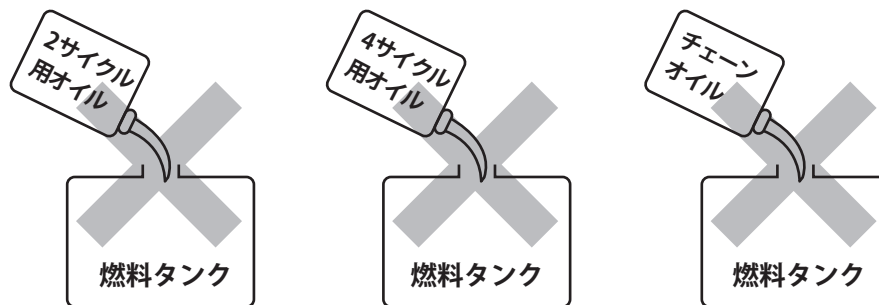


- 5** 混合タンクのキャップをしっかりと締め、混合タンクを振り、カクハンします。

# 運転前の点検

## ⚠ 注意

- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2サイクル用オイルだけを入れしないでください。
- ・燃料タンクに4サイクル用オイル、チェーンオイルを入れしないでください。



## ●燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。

### ■燃料の給油

- 1 潤滑油混合ガソリン (25:1) を準備します。  
P.9参照
- 2 燃料キャップ面を上にして開けます。



- 3 潤滑油混合ガソリン (25:1) を、少しずつこぼさないよう漏斗 (じょうご) 等を使い給油します。
- 4 給油が終わったら燃料キャップをしっかり締めます。

## ●チェーンオイルの点検

チェーンオイルを点検し、不足している場合は補給します。チェーンオイルの不足はガイドバー、ソーチェーンの摩耗を早め故障の原因になります。

### ■点検手順

- 1 オイルタンクキャップ面を上にして開けます。
- 2 タンク内のオイル量を点検します。



### ■チェーンオイルの補充

- 1 SAE 10W-30 (4サイクル用エンジンオイル) またはチェーンソー専用オイルを準備します。
- 2 チェンソーオイルを給油します。
- 3 オイルキャップをしっかり締めます。

# 運転操作の仕方

## 警告



禁止

- 燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- 回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。



指示

- エンジン始動時、ソーチェンが回り始めることがあるので、チェンブレーキを必ずかけてエンジンを始動してください。
- エンジンが始動したら、アクセルロックを解除し、チェンブレーキも解除してください。
- 必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- 平坦な場所で作業を行ってください。
- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、チェンブレーキをかけ、ハンドルを持って運搬してください。

## 注意

- エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。必ず両手でしっかり本体を保持してください。

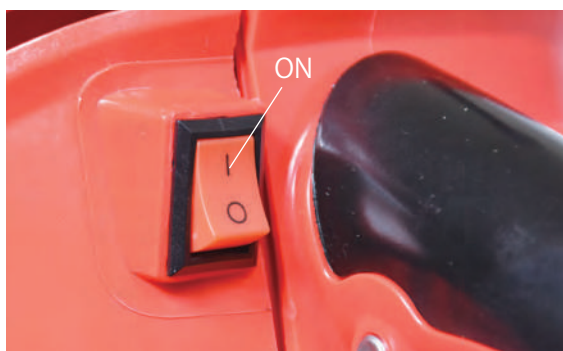
## ●エンジンのかけ方

### ■始動手順

- 1 左手でフロントハンドルを握ったまま左手首をひねり、フロントガードを前方に倒してチェンブレーキをかけます。



- 2 エンジンスイッチをONにします。



- 3 チョークレバーを止まる位置まで引きます。(強く引きすぎないでください。)



チョークを引いた状態

- 4 プライマリポンプを約10回押し、燃料を引き出します。  
※燃料が貯まったらOK。





## 運転操作の仕方

- 5** リコイルスターターロープをゆっくり引きま  
す。その時、マフラー側から「ポン」と空気が  
抜ける音がします。



その位置からリコイルスターターロープを一旦  
少し戻し、素早く引きま



### 👉 ポイント

この時、初爆が一回だけ「ブルンッ」と起  
こりますので聞き逃さないようにしてくだ  
さい。  
ここで聞き逃して何度もチョークを引いたま  
まりコイルスターターロープを引くと、プラグ  
を濡らしてしまいます。特に注意が必要です。  
万が一、濡らしてしまった場合は、P.26の「始  
動しない時の対処方法」をご覧ください。

- 6** 初爆の確認ができたならチョークを戻します。  
セーフティーボタンを押しながら、アクセルト  
リガーを握るとチョークは自動で戻ります。



- 7** 5と同じ要領でリコイルスターターロープを引  
きます。

- 8** エンジンが始動したらチェンブレーキを解除し  
ます。

**注)** チェンブレーキをかけたまま、アクセルを  
ふかさないでください。チェンブレーキが焼き  
付き、故障の原因となります。

## ●エンジンの止め方

### ■停止手順

- 1** アクセルトリガーより手を離し、低速運転にし  
ます。



- 2** エンジンスイッチをオフにします。



- 3** ソーチェンが完全に停止した後に、ガイドバー  
カバーを取付けます。



★本機を使用後は、毎回清掃を行ってください。  
清掃の仕方はP.18参照



# 運転操作の仕方

## 警告

- ・チェンブレーキがかかっている間は、エンジンの回転を上げないでください。
- ・エンジンブレーキにおが屑などがつまり、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

## ●チェンブレーキの操作と確認

チェンブレーキは、チェーンの回転を停止させる機能です。

### ■操作手順

- 1 エンジンの始動手順に従って、エンジンを始動します。P.11参照
- 2 チェンソーを高速に回転します。
- 3 左手でフロントハンドルを握ったまま左手首をひねり、フロントガードを前方に倒してチェンブレーキをかけます。



- 4 ソーチェンが瞬時に止まることを確認します。
- 5 アクセルトリガーを離します。

- 6 フロントガードを手前に引いて、チェンブレーキを解除します。



- 7 エンジンの停止手順に従って、エンジンを停止させます。P.12参照

## ●オイル吐出量の調整

硬い木、太い木を切る場合、冬季にオイル粘度が高くなり吐出量が少なくなったときなどに、吐出量の調整を行います。

### ■操作手順

- 1 付属品のマイナスドライバーを準備します。
- 2 製品の底部にある調整ネジを回して、吐出量を調整します。左に回すと吐出量が増えます。  
注) 回しすぎに注意



# 伐木作業

## 警告

- ・伐倒の際、予め木が倒れる方向をよく確認し、退避方向、場所を決めておいてください。
- ・かん木、枝条、つる、浮石等で、伐倒の際その他作業中に危険を生ずる恐れのあるものを取り除いてください。
- ・高所での作業時は、安定した足場を確保してください。
- ・片手持ち操作はしないでください。
- ・異常時は速やかにエンジンスイッチをOFFにしてください。

## ●伐倒の仕方

### 1 伐倒前準備

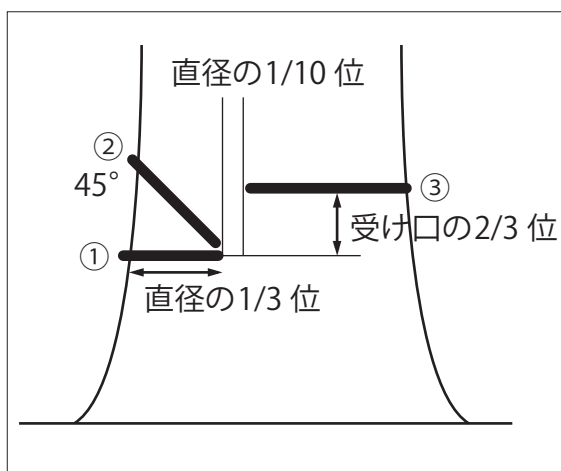
伐倒する木の傾き、伐倒後の作業方向等を考慮し、伐倒する方向を決めます。  
周辺の障害物、灌木、浮石などを除去します。  
木が倒れる反対方向に退避方向を決めておいてください。

### 2 受け口切り

①水平に切り込みを入れ、②次に45°の角度で切り込みを入れます。

### 3 追い口

③追い口は、受け口の高さの2/3の高さに、受け口水平面と平行に切り込みを幹の1/10位つるとして残します。



### 4 木が倒れ始めたら

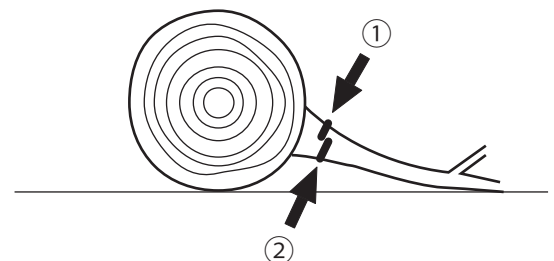
チェーンソーのエンジンを停止し、安全な場所に退避します。

## ●枝払い

伐倒した木の枝を切り落とします。

### 👉 ポイント

- ・ガイドバーの先端部分は、キックバックの防止のため使用しないでください。
- ・地面などで押さえられて弓状になっている枝などは、枝の跳ね返りに注意し、内側からなた目を入れ反発力を弱めてから切り払ってください。
- ・支え枝は、最後まで残してください。
- ・太い枝は、初めに上側①から1/3ほど切り込みを入れ、下側②から切り落としてください。



- ・枝を切ることにより、材の転がりや滑りにご注意ください。

# 伐木作業

## ●玉切り

丸太の切り離しを行います。支持の仕方によって切り方が異なります。

斜面で行うときは、斜面の上部で作業してください。

### 👉 ポイント

#### ●両端に支持がある場合

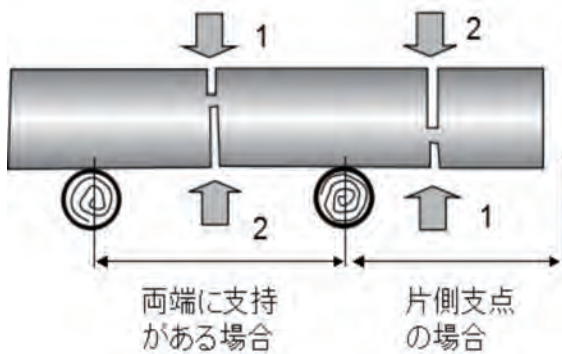
最初の切り込みは、上側から下側に向け直径の1/3まで切り込みます。

次に下側から上側に向けて切り込み、最初の切り込みとつながるようにします。

#### ●片側支点の場合

最初の切り込みは、下側から上側に向け直径の1/3まで切り込みます。

次に上側から下側に向けて切り込み、最初の切り込みとつながるようにします。



## ●キックバック防止

### 【禁止事項】

・ガイドバーの先端上部を使うことはしないでください。



・肩より高い木を切るとはしないでください。

### 【順守事項】

・両手でしっかりハンドルを握って操作してください。

・張力でチェーンが挟まれないように注意してください。

・ガイドバーの先端上部を木などにふれないようにしてください。

・高回転で使用してください。

# 点検整備・清掃の仕方

## ●エアクリナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどいときはよく洗います。

### ■点検手順

- 1 エアクリナーカバー取付けネジを緩め、カバーを取外します。



- 2 エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。

- 3 取外しと反対の手順で取付けます。

## ●スパークプラグの点検

スパークプラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

### ■点検手順

- 1 エアクリナーカバー取付けネジを緩め、カバーを取外します。

- 2 プラグカバーを外し、付属のプラグレンチで、スパークプラグを取外します。  
※カバーを外す際、左右にグリグリ回しながら引き抜くことで簡単に外すことができます。



- 3 電極の周辺に、オイルや堆積物が付着している場合は清掃します。



- 4 電極間隔は0.6mm～0.7mmになるように調整します。



- 5 取外しと反対の手順で取付けます。



# 点検整備・清掃の仕方

## ●キャブレターの点検

必要に応じてエンジンの回転数を調整します。

### ■アイドル調整(T)

暖機運転後、アクセルトリガーを離した状態でソーチェンが回り続ける場合は、アイドル回転を下げて下さい。

### ■点検手順

- 1 マイナスドライバーを準備します。
- 2 アイドル調整穴に差し込みアイドル調整ネジを回します。  
右に回すと回転が上がります。左に回すと回転が下がります。

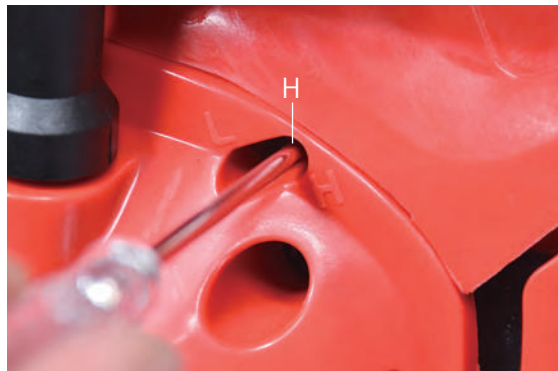


★以下の作業は、知識のある方、慣れている方が行ってください。

### ■高速ニードル(H)

エンジンをかけ、暖気運転後アクセルをいっぱい握った状態で調子を確認します。高速ニードルを右に回す(絞る)と混合比が薄くなり、エンジンがふけるようになります。

※全絞にするとエンジンが焼きつきます。



### ■低速ニードル(L)

アイドル回転数調整後、アクセルを握ったとき、スムーズに回転があがることを確かめます。スムーズに上がらない場合は、時計の針で2~3分程度の範囲で左(反時計回り)に回します。



### ■リセットの仕方

調整中に何回転したかわからなくなることがあります。その場合は、リセットします。

時計回りに全閉し、反時計回りで1回転がリセット位置です。

# 点検整備・清掃の仕方

## 警告

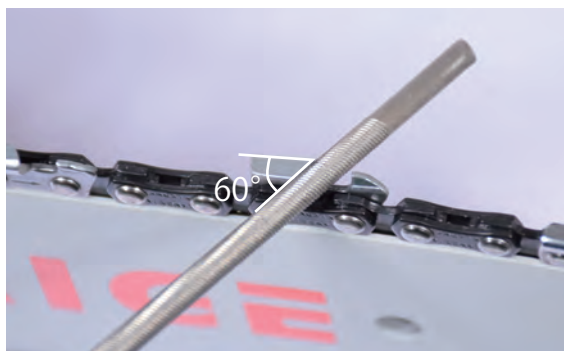
- ・チェンブレーキがかかっている間は、エンジンの回転を上げないでください。
- ・エンジンブレーキにおが屑などがつまり、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

## ●チェンの目立て

刃の切れ味が悪くなったとき、ソーチェンの刃の目立てを行います。

### ■作業手順

- 1 付属の丸ヤスリを準備します。
- 2 ソーチェンの張りを適正にします。
- 3 目立ては、ヤスリを押し出すときだけヤスリをかけます。  
ヤスリに均等に力が加わるようにします。



## ●清掃

本機をご使用後は、下記の要領で各部の清掃を行ってください。

清掃をせずにそのまま使用を続けると、故障の原因になります。

### ■チェンオイルについて

本機使用後もチェンオイルが出る場合がありますので、使用後は毎回オイルを抜くことをおすすめします。

### ●ソーチェーンの清掃

ソーチェーンはガイドバーから外し、木屑等の詰まりを毎回取除いてください。

また、刃こぼれがないか確認してください。

## ●チェンカバーの清掃

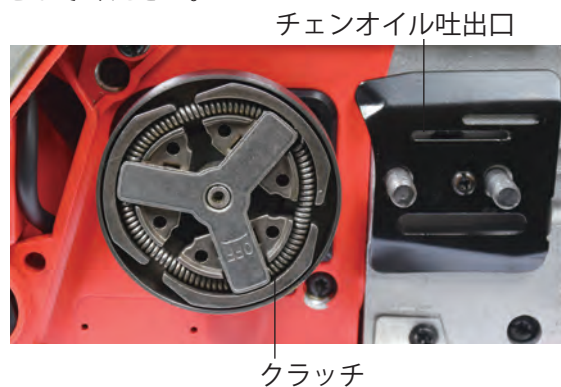
チェンカバーを外し、中にたまった木屑等をブラシなどで毎回清掃をしてください。



## ●チェンオイル吐出口・クラッチ・スプロケットの清掃

チェンオイル吐出口が、木屑等で詰まるとオイルがチェンに行きわたらず、故障の原因になりますので、毎回清掃をしてください。

また、クラッチ・スプロケットやその周辺も丁寧に清掃をしてください。



## ●ガイドバーの清掃

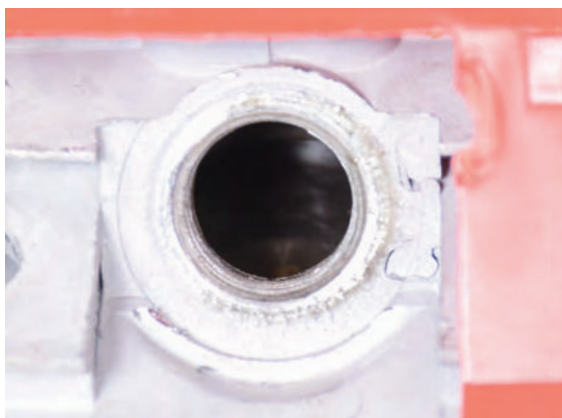
ガイドバーのチェンオイル注入口が、木屑等で詰まるとオイルがチェンに行きわたらず、故障の原因になりますので、ソーチェーンを外し毎回清掃をしてください。



# 長期間使用しないとき

## ●装置を1週間以上使用しないとき

- 1** 燃料タンクから燃料を抜きます。  
エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。  
余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1ヵ月以内に使い切ってください。
- 2** エンジンスイッチをOFFにします。
- 3** オイルタンクからチェンオイルを抜き取ります。
- 4** スパークプラグを外し、適量（2～3滴）の2サイクルオイルをシリンダ内に入れます。  
リコイルスターターロープを2～3回引いた後、ピストンが一番手前になるところで止めます。



写真ではわかりにくいですが、穴をのぞくと、ピストンが見えます。

- 5** スパークプラグを取付けます。
- 6** スパークプラグキャップは取付けしないで、エアクリーナーカバーを取付けます。



- 7** チェンカバーを装着し、湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

### ⚠ 警告

- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

### ⚠ 注意

- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

# 故障と思ったら

## ●エンジンがかからない

症状	原因	対処
エンジンがかからない	燃料の混合比 25 : 1 以外を使用している	25 : 1 の混合燃料に交換
点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良	交換
	②スパーク・プラグ不良	交換 (P.23 参照)
	③スパーク・プラグ・キャップ接続不良	調整 (P.23 参照)
	④イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない	燃料を入れる
	②燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
	③燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除

## ●エンジンはかかるが、回転があがらない

	①エアフィルタの汚れ	清掃又は交換
	②キャブレターの調整不良	調整

## ●アクセルを離してもソーチェンが回る

アイドリングの回転数が高すぎる	①キャブレターの調整不良	調整
-----------------	--------------	----

## ●強く押さないと切れない

	①チェーンの摩耗	ソーチェンの目立て
	②ガイドバーの摩耗	交換

## ●燃料やオイルが漏れる

燃料やオイルがキャップから漏れる	ゴムパッキンが変形、または硬化	パッキンを外して、再度付け直す又は交換
------------------	-----------------	---------------------



# 故障と思ったら

## 点火プラグの点検

※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



カバーを外す際、左右にグリグリ回しながら引き抜くことでスムーズに外すことができます。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

**先端が濡れている**

**先端は濡れていない**

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付け、スイッチを入れます。



③プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。2人で行うと楽にできます。



**火花が出る**

**火花が出ない**

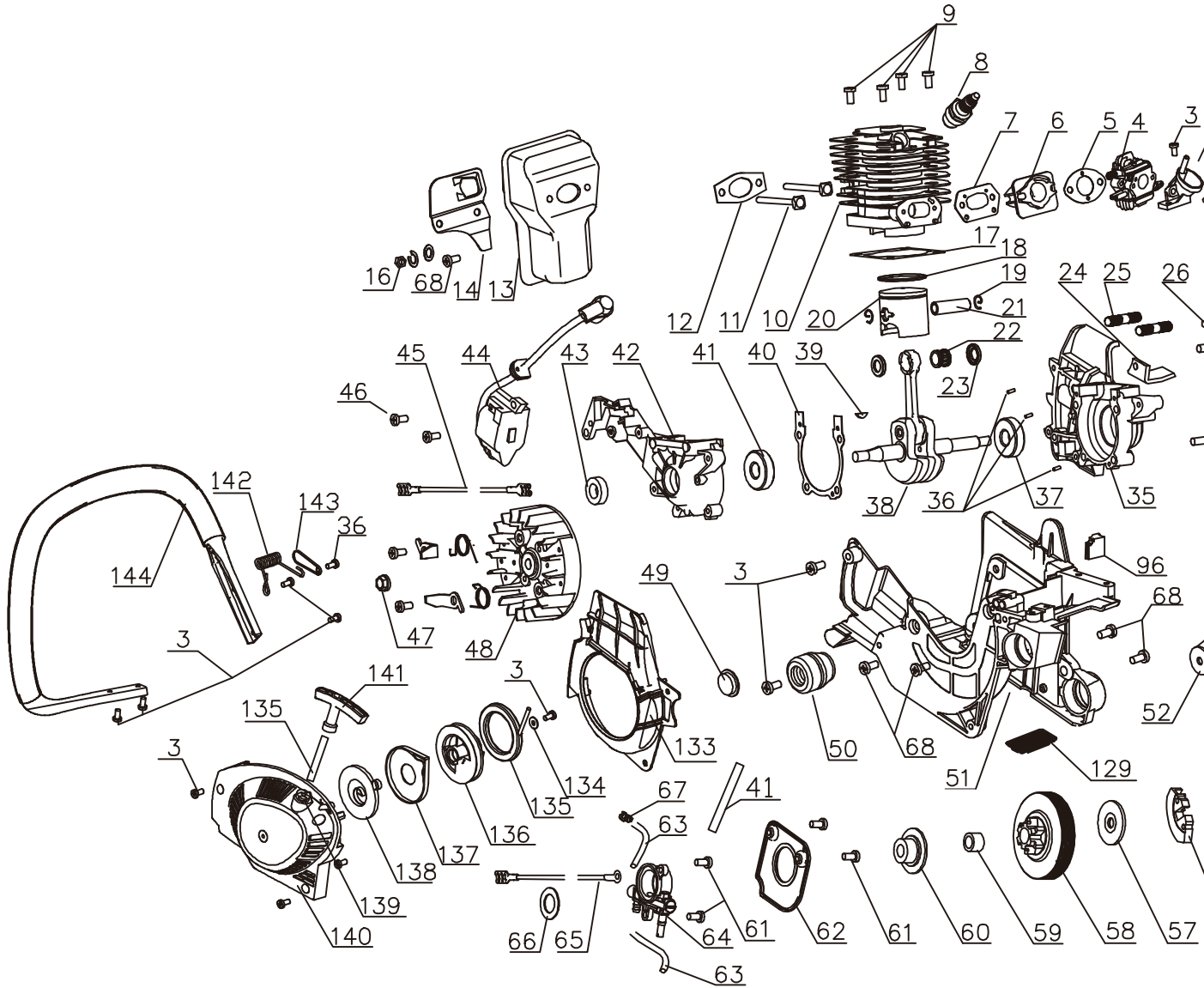
プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

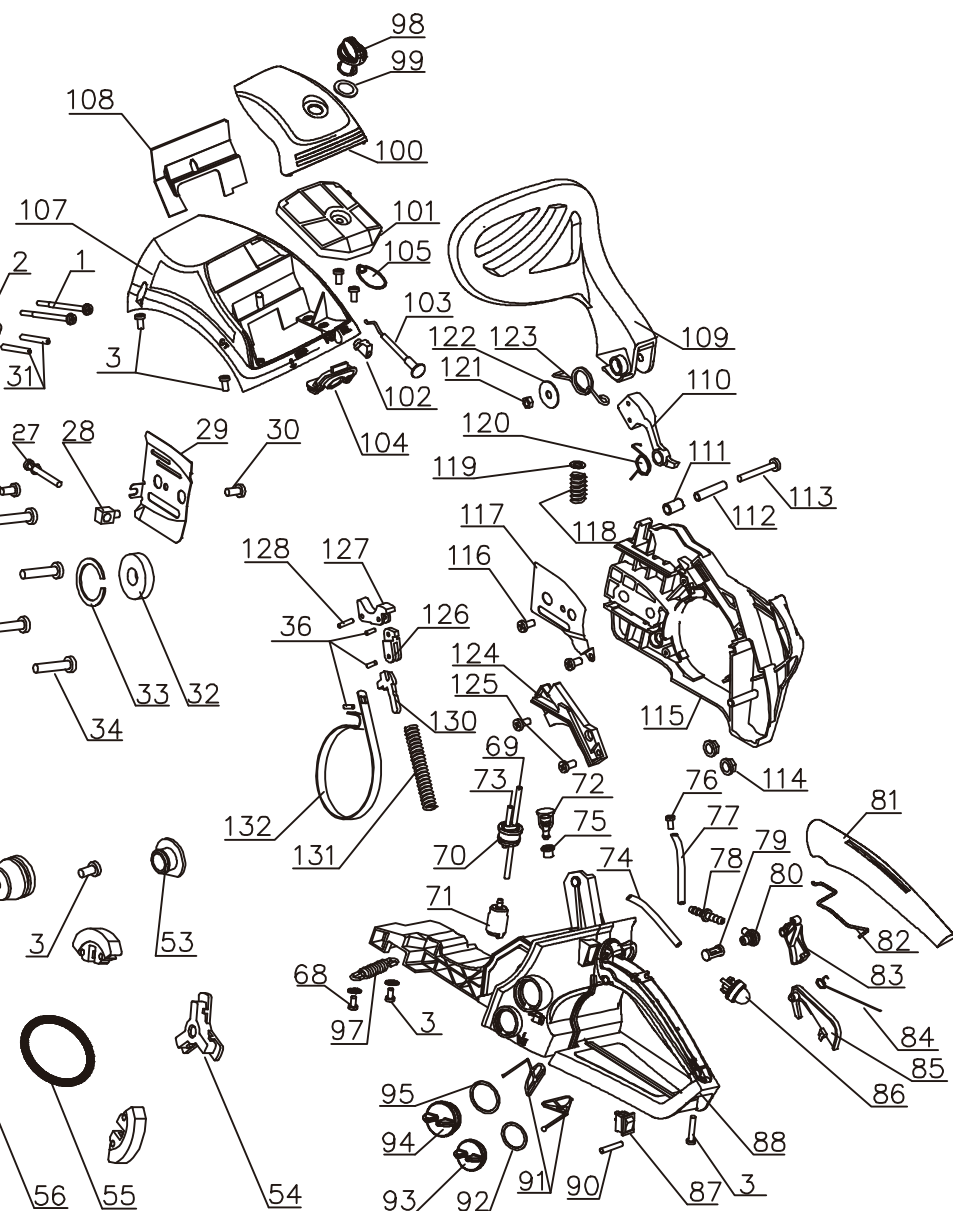
# バラシ図・パーツリスト

2017.2 現在

※部品によっては、アッセンブリー(組立て済み部品)の場合もあります。



1	キャブレタースクリュー	20	ピストン	38	クランクシャフトアッシー	56	クラッチシュー
2	吸気管	21	ピストンピン	39	フライホイールキー	57	クラッチパッド
3	ネジ	22	ニードルボールベアリング	40	クランクケースガスケット	58	クラッチドラム
4	キャブレター	23	スナップリング	41	ボールベアリング	59	ニードルベアリング
5	キャブレターガスケット	24	チェーンブロックストッパ	42	左ケース	60	ウォームギア
6	インテークマニホールド	25	スタッドボルト	43	オイルシール	61	ネジ M4×14
7	インテークマニホールド	26	チェーンブロックストッパーネジ	44	イグニッションコイル	62	オイルポンプカバー
8	スパークプラグ	27	テンションチェンネジ	45	ストップワイヤ	63	オイルホース
9	ネジ M5×20	28	テンションブロック	46	六角 M4×14	64	オイルポンプ
10	シリンダー	29	オイル出口カバー	47	ナット M8	65	アース線
11	マフラースクリュー	30	ネジ M4×10	48	フライホイール	66	ワッシャ
12	マフラーワッシャ	31	絶縁スリーブ	49	蓋	67	オイルニップル
13	マフラー	32	オイルシール 12×32×5.5	50	防振ゴム ロング	68	ネジ M5×14
14	マフラーシールド	33	スナップリング	51	クランクケース	69	燃料ホース
16	ナット M5	34	ネジ M5×30	52	防振ゴム ショート	70	燃料ホースサポート
17	シリンダーガスケット	35	右ケース	53	蓋	71	燃料フィルター
18	ピストンリング	36	ピン	54	クラッチサポート	72	バルンサー上部
19	スナップリング	37	ボールベアリング	55	クラッチスプリング	73	リターンホース



74	チェーンオイルホース	93	オイルキャップ	112	ピンスリーブ	130	ブレーキレバー
75	バルンサー下部	94	燃料キャップ	113	ネジ M5×40	131	メインブレーキバネ
76	ネジ 4×16	95	燃料ガスケット	114	ナット M8	132	ブレーキスプリングカバー
77	換気ホース	96	ストッパー	115	チェンカバー	133	シュラウド
78	ホースコネクタ	97	テンションスプリング	116	タッピングネジ ST4.2×10	134	ワッシャ
79	オイルストレナ	98	エアフィルタロックナット	117	テンションネジカバー	135	ロープ
80	オイルニップル	99	ロックナットガスケット	118	副ブレーキバネ	136	スタータプーリー
81	リアハンドルカバー	100	エアフィルタカバー	119	ブレーキバネワッシャ	137	スプリングカバー
82	スロットルロッド	101	エアフィルタ	120	スプリングシート	138	リコイルスプリング
83	トリガー	102	チョークグロメット	121	ナット M5	139	ロープガイドブッシュ
84	トリガートーションバネ	103	チョークノブ	122	ワッシャ	140	スタータハウジング
85	セーフティボタン	104	スロットルプッシュロッドシート	123	トーションバネ	141	スタータハンドル
86	プライマリポンプ	105	エアフィルタガスケット	124	ブレーキスプリングカバー	142	ハンドルスプリング
87	ストップウォッチ	107	上蓋	125	タッピングネジ ST4.2×13	143	スプリングカバー
88	燃料タンク	108	ガスケット	126	ブレーキレバー B	144	ハンドル
90	ピン	109	フロントガード	127	ブレーキレバー A		
91	キャップコード	110	ストッパープレート	128	ピン		
92	オイルガスケット	111	ピンスリーブ	129	換気パネル		

# パーツ一覧

## ●付属のガイドバー詳細

種類	サイズ (インチ)	ドライブリンク数	ピッチ (インチ)	ゲージ (インチ)
スプロケットノーズ	16	57	3/8	0.050
対応ソーチェン型番				
オリジナルソーチェン	HG-KA-57 リンク数 57			
OREGON (オレゴン)	• 91PX57 • 91VXL57 • 72LP (X) 57 • 72D57 • 72DP57 • 72LG (X) 57			

## ●適応プラグ

適応 点火プラグ	NGK	BPM7A
-------------	-----	-------

※市販品をご購入の場合は、外した点火プラグを持参し、大きさ・長さを確認しお求めください。

## ●ヤスリ

ヤスリ	Ø4.0mm
-----	--------





# 始動しない時の対処方法

※写真はイメージです。

## エンジンが始動しない原因の多くは？

初爆を聞き逃し、チョークを引いたまま、何度もリコイルスターターロープを引くことで燃料が行き過ぎてしまう。いわゆる「かぶり」状態による始動不良が多くの原因です。

### 1 エアクリナーボックスのフタを外す

※エアフィルタを外してください。



### 2 プラグを外す

※プラグキャップを外し、付属プラグレンチでプラグを外してください。(反時計回り)



### 3 プラグの先端が燃料で濡れているので布等で拭く



### 4 リコイルスターターロープを引いて(15～20回)、プラグ穴から燃料が出てこないか確認

※燃料がプラグ穴から出て来たら、出なくなるまでよく拭き取ってください。

### 5 プラグを取り付ける

※付属プラグレンチでプラグ取付け、プラグキャップをしっかりとめ込んでください。

### 6 エアフィルタを戻し、フタを取付ける



### 7 チョークを引かずにリコイルスターターロープを引く

※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引いてください。



▲なお、エンジンの始動の仕方、始動しない時の対処方法は、WEBでも動画公開していますので、そちらもぜひご覧ください。

# お客様ご相談窓口

## 故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

### ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

## 故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。  
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。  
⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

### ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

## 故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。  
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

### お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理<sup>\*1</sup>か、引取り修理<sup>\*2</sup>か、出張修理<sup>\*3</sup>かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。  
※ご希望に応じて相談させていただきます。

### 販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

\*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。  
\*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。  
\*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

### ■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

### ■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

### ■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

### ■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

## 修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

## 修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先  
ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>  
ハイガー産業お問い合わせ  検索

TEL:0276-55-2275 FAX:0276-55-2276

# 販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト▶<http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト▶<http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト▶<http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。  
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。  
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

## ハイガー産業 株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。  
件名：「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

### お問い合わせ

ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>

TEL. 0276-55-2275 FAX. 0276-55-2276

※平日12:00～13:00はお電話は繋がりません。

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返し対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。

お急ぎのご用件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。

FAXは24時間受付ておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに関しましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。

◎営業時間：10:00～17:00(第1・3・5土曜日は12:00まで) ◎定休日：日曜、祝日、第2・4土曜日

